

平成20年度 自治体国際協力専門家派遣事業の第二次派遣について

(財)自治体国際化協会では、自治体が海外の自治体等と行う国際協力事業に対して各種支援を行っております。

この度、国内の自治体職員が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地・地域における技術力の向上や人材の育成に寄与し、国内外の自治体の友好協力関係の促進を図る『自治体国際協力専門家派遣事業』について、平成20年度事業として、中国自治体の要請に基づき、下記のとおり、中国の黒龍江省綏化市慶安県、及び河北省に、わが国の自治体職員を各1名、専門家として派遣いたします。

なお、今回の派遣は、平成20年度の第二陣であり、現在、中国各自治体から農業技術、都市計画、文化財保護等の各分野において要請があり、国内の自治体との調整が済み次第、順次派遣をしてまいります。

記

《第二次派遣の内容》

(中国・黒龍江省綏化市慶安県)

派遣先 中華人民共和国黒龍江省綏化市慶安県

派遣者 栃木県 農業試験場 合田健二氏

派遣背景 稲作の減農薬（減化学肥料）方法、日本における有機米栽培の取り組み紹介、その土地に最もふさわしい水稻品種の選定、水稻の病害虫防除（特に稲熱病対策）について指導を行う。

派遣期間 平成20年6月1日（日）～6月8日（日）8日間

(中国・河北省)

派遣先 中華人民共和国河北省

派遣者 宮崎県 元総合農業試験場果樹部長 波多野 洋氏

派遣背景 同氏は2001年に、河北省農業産業協会へ、葡萄の栽培技術に関する指導へ行っており、その時に指導した技術を省内で標準化するため、再度訪問するもの。

派遣期間 平成20年6月11日（水）～6月18日（水）8日間

連絡先

(財)自治体国際化協会

支援協力部国際協力課

課長：藤井 主査：山中

電話：03-5213-1726

(中国・河北省)

1. 派遣先場所



河北省のデータ

人口：約 6809 万人

面積：187,700km²

2. 派遣先機関

中国河北省農業産業協会

中国河北省農業産業協会は、河北省発展改革委員会の外郭団体で、約 30 名の職員で組織されている。主に、河北省全域における農業・野菜・果物の優良品種、先進的な生産技術・管理経験などの普及を主に行っている。

自治体国際協力専門家派遣事業について

1. 事業目的

国内の自治体関係者が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地における技術力の向上や人材の育成に寄与するとともに、国内の自治体と海外の自治体等との友好協力関係を促進するため、国際協力に関するノウハウを有する自治体職員（退職者も含む）を登録している「国際協力人材バンク」等から選考し、海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する。（平成10年度から実施）

2. 事業内容

(1) 海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する。

派遣分野：農業、林業、環境、土木、都市計画、医療、教育など32分野

派遣者：国際協力人材バンクに登録している自治体職員及び退職した職員

派遣先：当面、中国、東南アジアを対象

派遣期間：原則、3か月以内（概ね10日間から1か月程度）

(2) 派遣実績

平成10年度：中国3名（農業、環境保全）、平成11年度：中国6名（農業）

平成12年度：中国6名（林業、農業）、ベトナム1名（福祉）、カボジア3名（教育）

平成13年度：ラオス5名（教育、法律）

平成14年度：中国1名（環境）、インドネシア1名（法律）、シマール1名（上下水道）、
ラオス1名（法律）

平成15年度：ラオス2名（教育）

平成17年度：中国2名（農業、環境）、カボジア1名（農業）

平成18年度：中国16名（農業、林業、畜産、環境、交通計画、都市計画）、
カボジア1名（農業）

平成19年度：中国9名（農業、文化財保護、畜産、環境、都市計画）、
タイ4名（消防防災）

(3) 平成20年度派遣予定数 21件

3. 自治体国際協力人材バンクについて

(1) 内容

自治体職員（OB含む）で、国際協力についてのノウハウと熱意を有している者をデータベースとして登録し、当協会の「自治体国際協力専門家派遣事業」での活用や自治体が発行する各種セミナーなどでの活用を図るため、平成9年度に設置

(2) 登録状況

登録者数：1,376名（平成20年4月現在）

登録分野：農業160名、教育127名、環境保全87名、保健衛生91名、林業82名 等